冬の植物園

横浜市青葉区もえぎ野公園
大和市泉の森
国立科学博物館附属自然教育園
東京大学小石川植物園
横浜市野毛山公園
井の頭恩賜公園
港の見える丘公園/山下公園
再びのもえぎ野公園

もえぎ野公園のツワブキ

横浜もえぎ野公園
と
大和・泉の森

コウヤボウキ

タンキリマメ

ヒヨドリジョウゴ

コセンダングサ

イイギリ

軒先のヤサイ

ニホンスイセン

ハキダメギク

イヌホウズキ

自然教育園見ごろ情報

2017年12月7日号

詳しくはＨＰの「見ごろ情報」をご覧ください
http://www.ins.kahaku.go.jp/

附属自然教育園 検索

今週はここに注目！
イロハモミジの紅葉が見ごろです。

コバノカモメヅル（実）

大きさ5cmほどの舟形の実に、白くて長い冠毛をつけた種子がたくさん入っています。実が割れると、種子が風に乗って飛んでいきます。

アワブキ（黄葉）

葉が美しく色づきました。「泡吹（あわぶき）」の名前は、生木を燃やすと、切り口から泡が出ることによります。

ヤツデ

おしべ→めしべの順で熟し、めしべが熟す時期にはおしべはなくなります。これは、同じ花の花粉がめしべにつく「自家受粉（じかじゅふん）」を避ける、遺伝的多様性を守る工夫です。

今が見ごろ！

イロハモミジ（紅葉）

「もみじ」の代表選手。赤く綺麗に色づきました。イロハモミジの名前は、子どもたちが、この葉の裂片を「いろはにほへと」と数えたことによります。

チドリノキ（黄葉）

葉が美しく色づきました。葉は手のひらのように裂けませんが、カエデの仲間です。

園内で見られる木の実

マンリョウは「万両」、センリョウは「千両」、カラタチバナは「百両」、ヤブコウジは「十両」とも呼ばれ、正月の「縁起物」として飾られます。

マンリョウ（万両）
赤い実を、葉の下につけます。実が白い園芸品種もあります。

センリョウ（千両）
果実は痔に効果があるとされ、民間薬にも利用されます。

カラタチバナ（百両）
高さ40cm程度の低木。庭木や鉢植えにも使われます。

ヤブコウジ（十両）
高さ10cmほどの低木。葉に隠れるように赤い実をつけます。

ムサシアブミ
トウモロコシに似た赤い実がニョキッと生えています。

イイギリ
実は美味しそうですが、なかなか食べられず冬まで残ります。

国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

© 2017 国立科学博物館附属自然教育園

マンリョウ

センリョウ

カラタチバナ

ヤブコウジ

ウバユリ

コバギボウシ

コバノカモメヅル

サルトリイバラ

ハンノキ

国立科学博物館附属

自然教育園

アワブキ

チドリノキ